秋田北高等学校
図書館報
第89号

読窓

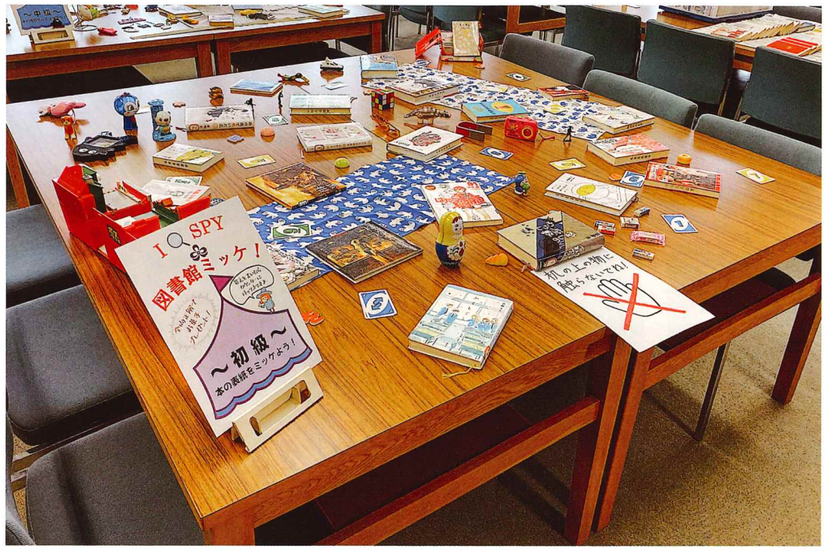
編集発行
秋田北高等学校
図書委員会

印刷所
株式会社 塚田美術印刷

図書館の中はオモチャ箱?!

北高祭企画 図書館ミッケ！開催

三年ぶりに一般公開された北高祭。今年の北高図書館は、オモチャがいっぱい！それもそのはず、子供たちに大人気の絵本『ミッケ！』をモチーフにした、北高図書委員会特製の「図書館ミッケ！」を開催したからです。



↑準備中の図書委員。

↓休憩スペースも用意。

↑入口には、新聞コラージュ看板。この中に文豪の顔写真を隠し、「文豪ミッケ！」に。

『ミッケ！』とは？

『ミッケ！』とは、風景や部屋の写真に紛れているアイテム等を探し出す、かくれんぼ絵本です。そこから着想を得て、ヒントに合った本を探す、本探しゲームにアレンジしたのが図書館ミッケ！です。

図書委員が持ち寄ったオモチャを散りばめたテーブルは、三つのレベルに分かれています。表紙に関するヒントを基に本を探す初級。あらすじやキーワードをヒントに本を探す中級・上級。どのレベルにもダミーの本が置かれているため、苦戦する人が続出！

また、小学生以下の子ども向け問題として、テーブルに散りばめたオモチャの中からアイテムを探す、実物ミッケ！を用意しました。悩みながらも楽しそうな子供たちの笑顔が印象的でした。

北高祭中の来館者は、約四百名にも上り、大盛況で終わることができました。幅広い世代の方に、北高図書館の新たな魅力が伝わったのではないかと思います。

→当日の様子。中級・上級にチャレンジする人たちは、難題に頭を悩ませていました。

『ミッケ！』 小学館
写真／ウォルター・ウィック
文／ジーン・マルゾーロ
訳／糸井重里

POP色とりどり

毎年恒例行事となった「校内POPコンクール」。今年も一年生を対象に、夏休み明けに開催しました。

集めたPOPは、二年図書委員によって予選審査が行われます。審査基準は「パッと目を引く」「本の雰囲気が伝わるイラスト」「あらすじ、キャッチコピーで読んでみたいと思わせる」の三点です。予選通過作品を一年全生徒と教職員から投票してもらい、最優秀賞・優秀賞を決定します。

今年のPOPの特徴として、タイトルやキャッチコピーの書き方に工夫が見られ、イラストとのバランスがとれた作品が多かったと思います。

POPコンクールをきっかけに、興味のある本を見つけた人もいると思います。POPを通してたくさんの本に出会うことができるのが、POPコンクールの強み。気になった本は、ぜひ図書館に探しにきてください。

最優秀賞POP

一C今野 紗芭さん
『君の名は。』

原作

『小説 君の名は。』
新海誠（角川文庫）

優秀賞POP

一B宮里 昊さん
『羅生門・鼻』

原作

『羅生門・鼻』
芥川龍之介
（新潮社文庫）

優秀賞POP

一G齋藤 百虹さん
『アイドル失格』

原作

『アイドル失格』
安部若菜
（KADOKAWA）

第1回 ブッカー選手権 開催！

図書委員の活動として、購入した本に保護フィルムを貼る「ブッカー」という作業があります。そのブッカーの出来栄えと速さを競い、図書委員の技術向上を図ろうと企画されたのがブッカー選手権です。

二年生四人、一年生二人の計六人のブッカー職人を選出し、「フィルム内に空気が入っていないか」「ゴミが付着していないか」「フィルムやカバーがずれていないか」「ブッカー後の本の開閉がスムーズか」の四点を審査基準としました。一年部の真下郁子先生、二年部の杉山学先生に審査員をお願いし、審査基準と作業の速さで採点・順位をつけてもらいました。

集まった選手たちの間には、とてつもない緊張感が漂っていました。人に見られながら作業するのは初めてのことだったので、「緊張で手が震える」という選手がほとんどでした。いざ始まると、切らなくてもいいところを切ってしまったり、表紙がカバーから抜けていたりと、いつもしないようなミスが出てしまい、失格になる選手も。

終わった後は、うまくできなかった悔しさや反省点を話し合っていました。

ブッカー技術は、図書委員だった証として、将来自慢できる特技になるかもしれません。来年度、さらにレベルアップした選手権を開催できたら、と思っています。

～結果発表～

1位　佐々木佳凛（2年）
2位　吉田　美結（1年）
3位　小笠原晴香（2年）

図書委員会

【三年】
A ○鎌田 夏未　藤本のどか
B 角崎 良佳　伊藤 亜紀
C 阿部 里穂
D ◎池内 勇太
E 伊藤 優生
F 赤塚香布美　加藤 寿々

【二年】
A 太田梓央里　櫻庭 幸登
B ○岡田 希美　◎辻谷詩音里
C 佐藤 幸実　佐々木佳凛
D 泉 悠人
E 三戸 菜緒
F 煙山 誠陽　嵯峨 羚央
小笠原晴香　佐藤 悠花

【一年】
A ○嶋田 一花　續 怜亜
B 伊藤ななみ　原田 千聖
C 阿部 倖愛　伊藤 誠希
櫻庭 幸歩
D 佐々木 夢　村田 成実
E 中川 暖愛
F 田口 結彩　堀井 爽羽
G 嵯峨 心優　吉田 美結
◎委員長　○副委員長

編集後記

最後まで目を通してくださり、ありがとうございます。企画を考え、実行した図書委員と、ご協力いただいた先生方や卒業生の皆様のおかげで、とても素敵な図書館報を発行することができました。北高図書館が楽しい場所となるよう、今後も様々な企画をしていきたいと思います。皆さん、ぜひご来館ください。図書委員一同、心よりお待ちしております。

（後期委員長　辻谷詩音里）

突撃！北高図書館書庫探検隊！

↑探検前の打ち合わせ。真剣です。

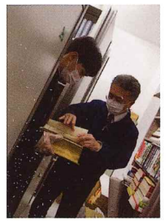
一昨年、創立百二十周年を迎えた秋田北高校。その歴史をうかがえるのが図書館の書庫です。明治～昭和初期の本がたくさん残っています。そんな書庫が存在することを知った図書委員の「書庫の中で一番古い本はどんな本だろう」という疑問から、今回の書庫探検を企画しました。

書庫探検隊に名乗り出たのは、図書委員一、二年それぞれ二名ずつの計四名。書庫探検をするにあたり、県立博物館での勤務歴のある、日本史教諭の小野寺康先生にアドバイザーとしてご参加いただきました。今回の目的である書庫最古の本だけでなく、古書として価値のある初版本にも注目して発掘することを教えてもらい、いざ書庫の中へ！

書庫は歴史ロマン

初めに調査した書架で見つけたのは、埃と日焼けで元の色がわからないような古い事典類。その中で最も古かったのは、明治四十年のもので、表紙を開くと魔法陣が出てきそうな装丁でした。

次に調査したのは、和紙を糸で綴じた和装本が並ぶ書架。江戸時代に作成され、明治時代に印刷されたであろう本が見つかり、一同大興奮でした。学校図書館の書庫ながら、歴史ロマンあふれる書庫探検となりました。（探検隊・嶋田）



↑探険隊が発掘した本をチェックする小野寺先生。ありがとうございました。

興味深い教科書

私たち書庫探検隊は、北高図書館に眠る、まだ見ぬ本を求め、書庫の奥地へと進みました。古い年代の本でも、状態がいい本がたくさんありました。中でも昔の教科書のような本が多数見つかり、細部まで手書きで描かれた図解がとても興味深かったです。

今回の書庫探検で、様々な年代の本を見つけ、当時の雰囲気が伝わる貴重な経験となりました。（探検隊・泉）

調査隊から報告！

探検隊が発掘してきた珍しい本や、北高書庫内で最古と思われる本がどんな本なのかを調べるため、書庫調査隊を結成。それぞれ調査する本を選び、

①発行年・内容

②作者や当時の出来事

などを調べてもらいました。

◆調査本①『土性辨』『培養秘録』佐藤信淵　著

①どちらも明治六年（一八七三）に発刊された、農業に関する本。

②著者の佐藤信淵は、日本史の教科書にもその名が出てくるほどの人物。秋田高校の校歌や秋田県民歌にもその名が使われており、千秋公園の彌高神社の祭神として祀られている。

明治六年は、徴兵令が発布された年。また、作家の泉鏡花、秋田出身の俳人石井露月が生まれた年でもある。（調査隊・煙山／原田）

◆調査本②『朝鮮近世史』林泰輔著

①出版は大正元年（一九一二）。日本が朝鮮を統治していた時代の出来事や当時の地図などが掲載されている。

②大正元年は、タイタニック号が沈没。白瀬矗が南極点到達を断念し、最終到達地点に日本国旗を立てた年。（調査隊・佐藤）

◆調査本③『中国史講義』揚敏曾編

①中華民国は、清が終わった後の中国の名称で、発行された中華民国七年は、大正七年（一九一八）にあたる。出版元の北京大学は、中国初の国立大学。この本は、大学で使用された教科書だと思う。

②大正七年は、田中角栄（第六十四・六十五代内閣総理大臣）が生まれた年。また、森永ミルクチョコレートが発売された年でもある。（調査隊・三戸）

北高図書館書庫の最古の本は明治六年のものでした。今後も、年に一度は発掘調査をしていきたいです。

to be continued…

書庫に眠っていた、古い図書館日誌

↑見つかった図書館日誌。

書庫探検の際、昭和三十一年度の図書館日誌が出てきました。当時の図書委員が書いた、館内の様子がわかるとても貴重な日誌です。「当時のお話が聞けるのでは？」という図書委員の思い付きから、日誌の名前を頼りにご連絡したところ、三名の元図書委員の卒業生へのインタビューが実現しました！

今回ご参加いただいたのは、第九回生で当時高校三年生の松本（高嶋）公枝さん、第十回生で当時高校二年生の伊藤（松井）美津子さん、田中（阿部）美子さんです。

Q：当時のことで覚えていることはありますか？

松本：図書室は教室と離れていて、体育館のそばにあったと思います。体育をさぼるときは図書室に逃げていました（笑）

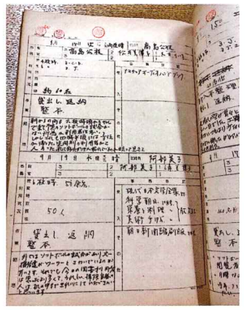
伊藤：当時は、戦後十年で本を買うという状況ではなかったので、図書館で借りて読むことが多かったと記憶しています。『赤毛のアン』も図書館で借りて読みました。

田中：当時流行ったフランスの恋愛小説「マノン・レスコー」を借りて読んだ記憶はあります。当時の高校生には刺激的な内容で、隠れて読んでいました（笑）

Q：図書委員の経験が生かされた場面はありましたか？

松本：小さい時から本当に読書が好き。視覚障害者向けに、本の朗読をテープに録音するボランティアをしていたことがあります。自分では読まない本を知ることができる良い経験でした。

伊藤：私も公共図書館のボランティアをしていたことがあります。今思えば、図書委員になったのも、当番中に読書ができるからだったのかもしれません。



田中：何かを書くことは昔から好きだったと思います。日誌を見ると、今でも考えるようなことを書いているので、たしかに自分の文章だな、と思いました。自分で文字を読める間は、活字に触れていたいと思っています。

Q：日誌には、連日「満員」と書かれていますが、その光景を覚えていますか？

一同：覚えてないわね（笑）

松本：当時は、今のようにテレビやスマホなんてないし、本が唯一の娯楽だったのよね。スマホで簡単に調べられるのは便利だけど、本を通してじっくり調べたことのほうが、身につくと思っています。

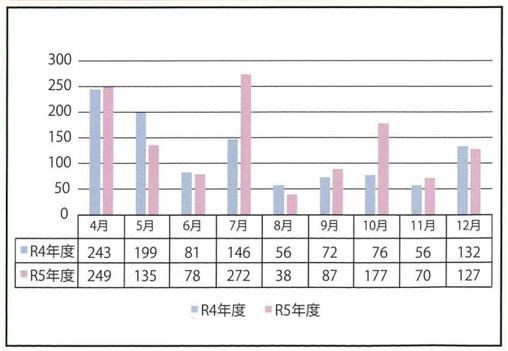
日誌に書かれている本のタイトルを見て、懐かしがられていた三人。当時、どれだけ読書をされていたのかがわかります。

今回のインタビューを通し、読書は自分の財産となり、そこからいろんなご縁に結び付くと実感しました。ご来校いただいた松本さん、田中さん、伊藤さん、貴重なお話、本当にありがとうございました。

「令和５年度　図書館利用状況」

今年度もたくさんの方にご利用いただきました。
12月までの利用状況をまとめました。

令和５年度　４月～12月の貸出冊数グラフ（前年度比較）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R4年度	243	199	81	146	56	72	76	56	132
R5年度	249	135	78	272	38	87	177	70	127

令和５年度　貸出ランキング

順位	学年・クラス	氏　名	冊数
1	１年Ｇ組	平　澤　理菜子	56
2	３年Ｃ組	阿　部　里　穂	42
3	３年Ａ組	鎌　田　夏　未	40
4	３年Ａ組	会　場　　翔	38
5	２年Ｅ組	煙　山　誠　陽	37

『汐、星のごとく』
凪良ゆう
（講談社）

令和５年度　貸出数上位本

順位	タイトル	作　者	出版社
1	汝、星のごとく	凪　良　ゆ　う	講談社
2	レモンと殺人鬼	くわがき　あゆ	宝島社
3	アイドル失格	安　部　若　菜	KADOKAWA
3	空想科学読本Ⅰ	柳　田　理科雄	KADOKAWA
5	＃真相をお話しします	結　城　真一郎	新潮社